

と き：令和3年12月9日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ 大規模倉庫の初動対応能力を向上させるための研修会の実施について

<担当：大阪市消防局予防部予防課 電話：06-4393-6330>

【フリップあり】

- ◆ 令和3年11月29日（月曜日）に発生した此花区北港緑地の大規模倉庫火災では、当該倉庫の防災センターからの館内放送により、100名を超える従業員に的確に避難を促し、全従業員が指定された避難場所に負傷者等を出すことなく避難しており、事業者が定期的実施している自衛消防訓練が功を奏したものである。
- ◆ 大阪市では、当該火災を受け、類似火災を防止するために市内の延べ面積5万㎡以上の大規模倉庫（21事業所）に対し、令和3年11月30日（火曜日）から12月10日（金曜日）にかけて、ハード面である階段・通路等の避難経路や防火シャッター等の防火区画、消防用設備等の現状の確認に加え、ソフト面である消防訓練の実施状況について、緊急の立入検査を実施している。
- ◆ さらに、万が一火災が発生した時には、各事業所の自衛消防組織による初動措置が非常に重要となることから、大規模倉庫における初動対応能力向上のため、実技操作訓練を取り入れた防火管理研修会を大阪市立阿倍野防災センターで実施する。
- ◆ 対象は緊急立入検査の対象とした市内の大規模倉庫（21事業所）に勤務する防火管理者及び自衛消防業務に従事する者で、令和3年12月14日（火曜日）から16日（木曜日）までの間で1日受講していただく。
- ◆ 研修会では、日常からの消防訓練の重要性を再認識していただくため、今回の大規模倉庫火災の概要、避難奏功状況、過去の類似火災等を座学で説明するほか、訓練用水消火器及び屋内消火栓設備を実際に使用して放水するなど、実技操作訓練を行う。
- ◆ 防火設備を適切に維持管理し、災害発生時に的確な初動措置ができるよう、研修を通じて倉庫の火災予防対策の定着を図り、自主防火・防災管理体制の構築を推進する。